

# 平成29年度学校経営方針

## 1 本校の教育目標

### 【学校教育目標】

自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きぬく児童生徒の育成

#### (1) 目指す児童生徒像

- ◎ **互いに思いやり、助け合う、心豊かな児童生徒（やさしい子）**
  - ・ 思いやりのある言動で、誰とでも仲よくすることができる。
  - ・ 学友と互いに助け合い、励まし合って行動することができる。
  - ・ 本校に誇りをもち、明るく楽しい学校生活をおくることができる。
- ◎ **進んで学び、確かな学力を身につける児童生徒（かしこい子）**
  - ・ 基礎基本と活用力を高め、確かな学力を身に付けることができる。
  - ・ 自ら学ぶ意欲をもち、積極的に課題や学習に取り組むことができる。
  - ・ 自分のよさや力を十分に発揮し、表現したり伝え合うことができる。
  - ・ ロンドン在住の利点を生かし、国際性とコミュニケーション能力を高めると共に、日本への理解を深めることができる。
- ◎ **心身ともに健康で、明るくたくましい児童生徒（たくましい子）**
  - ・ 健康で安全な生活をおくることができる。
  - ・ 物事に粘り強くチャレンジすることができる。
  - ・ 自らの体力の増進を図ることができる。

#### (2) 目指す学校像

ロンドン日本人学校における最良の教育を求めて教職員が最善を尽くし、児童生徒が「わかる・できる・ふれあう感動を味わう」教育を実現する。

- ◎ 児童生徒にとって [明るく楽しく元気に過ごせる 学びの場]
  - ・ 正しく豊かな心をもち、良好な人間関係で学習・生活ができる学校
  - ・ 「楽しくわかる・できる授業」と心の居場所があり、一人ひとりが輝く学校
  - ・ 英会話力や国際性など英国に学び、個のよさと可能性を伸ばす学校
- ◎ 教職員にとって [学び合い高め合う やる気とやりがいのある場]
  - ・ 全教職員が自己の使命と役割を自覚し、切磋琢磨して職責を果たす学校
  - ・ やさしさと厳しさをもち、専門職として児童生徒を成長させる学校
  - ・ 望ましい人間関係と組織運営体制で協働する、働きがいのある学校
- ◎ 保護者にとって [愛と夢と勇気と希望を育む 学ばせたい場]
  - ・ 教職員が一丸となって子どもの自己実現を支援する、通わせたい学校
  - ・ 安心・安全を保障し、清潔で潤いのある教育環境を創造する学校
  - ・ 保護者・地域・関係諸機関と連携協力し、信頼される開かれた学校

#### (3) 目指す教師像

本校が目指す教師の姿は、「教育の専門職」としての誇りと力量を有し、児童生徒一人ひとりをより良く伸ばすことのできる教師である。

- 「在外教育施設の使命」を自覚し、ロンドン日本人学校の教師としての誇りをもって、保護者・邦人社会の信頼と期待に応える教師
- 人間性や社会性を磨き、人権を尊重して、児童生徒に正しい心と言動の模範を示す教師
- 組織の一員として同僚性を発揮し、協調して互いに連携協力する教師
- 服務規律を守り、教育公務員としての自覚をもつ教師
- 児童生徒理解と研究・実践に努め、温かい指導と支援で一人ひとりの子どもを成長させ輝かせる教師
- 授業力を高め、「自ら学び 深く考え 共に高め合う」児童生徒の育成に努める教師

## 2 学校経営方針

- (1) 本校の良き伝統の継承・発展と健全かつ着実な学校経営・運営を推進する。
- (2) 「子どもたちを主役・主人公」にして輝かせる教育活動を実施する。
- (3) 「生きる力」の基礎を培うとともに児童生徒の「心のふるさと」となる学校を創造する。

## 3 学校経営の重点

### (1) 「確かな学力」の育成

- ① 読み・書き・計算の力など基礎基本の習得を重視するとともに、言語活動の充実を図り、知識や技能を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等の活用力を育てる。
- ② 「自ら学び 深く考え 共に高め合う」児童生徒の育成を目指す授業づくりを行う。
- ③ 生徒指導の機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の機会）を生かし、一人ひとりに達成感と満足感がある「楽しくわかる・できる授業」を実現する。
- ④ 学びの動機付けと学習意欲を高める学習指導の実現に努める。また、学習規律を確立し、家庭学習を含めて望ましい学習習慣の定着を図る。
- ⑤ 子どもの実態を的確に捉え、習熟度に応じた指導（補充・応用・発展的な学習等）を充実させることにより、一人ひとりの力を伸ばす個に応じた指導の実現を図る。
- ⑥ 情報教育を充実させると共に、授業におけるICT機器の有効な活用を図る。また、学校図書館の利活用と図書の実践に努め、読書活動を推進して読書習慣を形成する。
- ⑦ 全教職員の連携のもと、組織的な取組により、一人ひとりの教育的ニーズに適切に応える学校づくりを目指す。子どもの特性や実態・障害の程度や状況を正しく捉えた特別支援教育の推進と充実を図る。

### (2) 「豊かな心」と「望ましいマナーや習慣」の育成

豊かな自分づくりのための道徳教育の要として、心に響く道徳（「特別の教科道徳」）の時間の指導を充実させる。また、礼儀やマナーを身につけさせ、規範意識を高めて、「正しく・優しく・たくましい心」をもった子どもを育てる。

- ① 豊かな心を育てる体験や活動を意図的・計画的に設定・実施するとともに、違いを知り・認め、共に生きる、異文化理解と共生の「道徳的実践力」を養う。
- ② 児童会・生徒会活動の活性化及び異学年交流の充実を図り、互いに思いやりのある人間関係づくりに努める。また、いじめや不登校がなく、一人ひとりの子どもが「安心して通うことができる学校」「居場所のある学校」を実現する。
- ③ 夢や希望・目標をもち、その実現をめざしてねばり強く取り組むことのできるキャリア教育と進路指導を充実させる。

### (3) 「健康・体力」の向上

- ① 体育の授業を充実させるとともに休み時間を有効活用して運動量を確保する。また、集団遊びや運動ができる環境づくりに努め、遊びや諸活動を通して体を動かす習慣をつけて体力の増進を図る。
- ② 新体力テスト分析結果の活用を図るとともに、なわとび・長距離走など授業や休み時間の取組を工夫して継続的な体力づくりに取り組む。
- ③ 家庭と連携・協力して、早寝・早起き等の基本的な生活習慣の確立を図る。また、うがい・手洗い等の励行を指導して健康の保持・増進を推進する。

#### (4) 安心・安全・清潔で潤いある学校教育環境の整備

- ① 子どもを取り巻く安心安全な教育環境を整備するとともに、安全に生活するために「自分の命は自分で守る」心構えと実践力を身につけさせる。
- ② 大使館等関係機関と連携した避難訓練を実施して危機管理意識及び安全対策の向上に努める。
- ③ 事件事故はいつでもどこでも起こり得るとの認識をもち、子どもの危険予測及び危険回避能力の向上を図る。
- ④ 校舎内外、各教室・施設設備等の安全点検や環境整備、整理整頓・美化に努める。
- ⑤ 生活に潤いを与え、子どもの願いや思いが活かされる校内掲示活動の充実を進める。また、展示や花壇等を工夫整備して、校舎内外の潤いのある環境づくりに努める。

#### (5) 「校内研修」の充実と「英語によるコミュニケーション能力」の向上

- ① 子どもの視点に立った「わかる授業」を構築するために、教師一人ひとりの教材理解と児童生徒の実態に応じた効果的な指導方法について日常的に研修を行う。
- ② 個人研究は、在外にある利点を生かしながら積極的に研究の推進に努め、専門職としての指導力や資質・能力および人間的資質の向上を図り、自己変革をめざす。
- ③ 「英語によるコミュニケーション能力の向上」を目指して、現地校交流、英語・外国語 B（英会話）の授業・総合的な学習の時間が有効に機能・連携した実践を推進する。
- ④ 英語・外国語 B（英会話）授業の改善と充実を推進するために、授業規律の確立、児童生徒の実態に応じた授業内容の工夫改良、教科書の活用、クラス分けテストの実施などに取り組む。

#### (6) 「学校体制」の充実と信頼される学校づくり

- ① 教育課題の解決と達成を目指し、全職員がより良い学校づくりに進んで参加する。互いに望ましい人間関係を醸成し、その運営・業務を合理的かつ適切に協働して行う。
- ② 短いスパンで適切な進行管理を行い、授業時数や時間を確保するとともに教育課程の実施状況を点検・確認する。併せて不断の見直し、改善・充実を行う。
- ③ 愛情と信頼を基盤とした心の触れ合いを通して、一人ひとりの子どものよさや可能性を伸ばし、生き生きと活動できるよう指導の充実に努める。
- ④ 保護者への情報提供の充実により理解と協力を求め、保護者からの評価を生かした開かれた学校づくりを推進する。
- ⑤ 関係機関等と適切に連携して、安心・安全で信頼される学校づくりに努める。